

## 第4回 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会

日時：令和4年6月17日（金） 15時00分～17時00分

場所：三宮研修センター 7階 705号室

### 次 第

1. 開 会

2. 出席者紹介

3. 議 事

- (1) 六甲山・摩耶山関係のR4年度予算
- (2) 交通のあり方実現に向けたR4年度の交通社会実験
- (3) その他（GWに実施した駐車場利用状況・渋滞長調査結果）

4. 閉 会

---

#### 【配布資料】

資料1：委員名簿（出席者名簿）

資料2：座席表

資料3：六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会

## 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会 委員名簿（出席者名簿）

| 有識者                           |        | 備考       |
|-------------------------------|--------|----------|
| 神戸大学 名誉教授                     | 小谷 通泰  |          |
| 神戸大学大学院工学研究科 教授               | 織田澤 利守 |          |
| 大正大学 社会共生学部 公共政策学科 教授         | 柏木 千春  |          |
| 阪南大学 国際観光学部 国際観光学科 教授         | 清水 苗穂子 |          |
| 一般社団法人 グローカル交流推進機構 専務理事       | 横江 友則  |          |
| 山上事業者                         |        |          |
| 摩耶山天上寺/摩耶山観光文化協会 副貫主          | 伊藤 浄真  |          |
| 八光カーグループ 会長                   | 池田 淳八  |          |
| 六甲山観光株式会社/六甲摩耶観光推進協議会 代表取締役社長 | 寺西 公彦  |          |
| 阪急バス株式会社 自動車事業本部 営業企画部長       | 野澤 俊博  |          |
| 一般財団法人 神戸住環境整備公社 事業再編推進室長     | 川田 誉史子 |          |
| 経済界                           |        |          |
| 神戸商工会議所 常務理事                  | 津田 佳久  |          |
| 関係行政機関                        |        |          |
| 国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課長      | 大塚 賢太  | 代理：東口 武生 |
| 国土交通省 近畿運輸局 交通政策部 交通企画課長      | 片田 一真  | 代理：山野 順大 |
| 国土交通省 神戸運輸監理部 総務企画部 企画調整官     | 田橋 一   |          |
| 神戸市 企画調整局 未来都市推進課長            | 大利 泰文  |          |
| 神戸市 建設局 道路計画課長                | 清水 陽   |          |
| 神戸市 建設局 公園部 森林整備事務所長          | 栗山 明久  |          |
| 神戸市 交通局 自動車部 市バス運輸サービス課長      | 安藤 義治  |          |

令和4年6月17日(金)  
第4回 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会 座席表 (三宮研修センター)

web会議参加者

国土交通省 近畿地方整備局  
国土交通省 近畿運輸局

記者



傍聴者  
(10席)

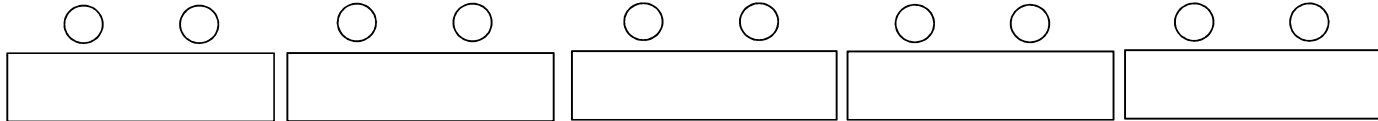
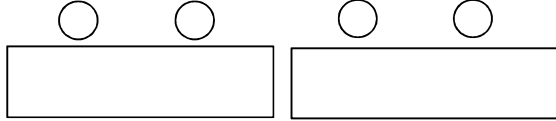
神戸大学  
小谷名誉教授

記者・傍聴者受付

委員受付

出入口

随行者



神戸商工会議所 (一財)神戸住環境整備公社 阪急バス(株) 六甲山観光(株) 八光カーグループ 摩耶山天上寺 (一社)グローバル交流推進機構 横江専務理事 阪南大学 清水教授 大正大学 柏木教授 神戸大学 織田澤教授

集音マイク



録音



カメラ(可動・光学ズーム)

PJ台

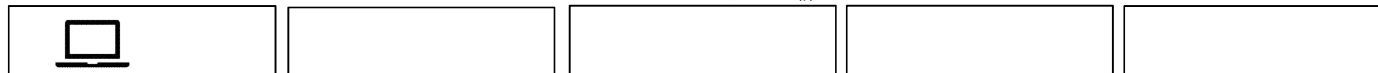
プロジェクター(天吊)



スクリーン

説明資料

事務局(都市) 事務局(都市) 事務局(都市) 事務局(観光) 事務局(観光) 神戸市市バス運輸サービス課 神戸市森林整備事務所 神戸市道路計画課 神戸市未来都市推進課 国土交通省神戸運輸監理部



事務局(コンサル) 事務局(都市) 事務局(都市) 事務局(観光) 事務局(コンサル) 事務局(コンサル) 随行者



事務局(都市) 事務局(観光)



## 第4回

# 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会

令和4年6月17日

神戸市

# 前回の振り返り

## □全体

- ・取りまとめのアウトプットとして、潜在的な方も含めて誰がどういうシチュエーションで六甲山に来るのかという利用者を想定した上で、各施策がどのような効果を生むのかという視点でまとめてはどうか。
- ・六甲山全体をあたかもテーマパークのような形で打ち出していく必要があるのではないか。テーマパークと捉えると、ゾーニング計画が出来る。その上で、モビリティの配置などの整理が必要。
- ・活性化のためには、六甲山エリアだけでなく、摩耶山エリアでも魅力のあるコンテンツを生み出していく、既存のものを開発していくということが必要。
- ・各交通施策については実証実験とその検証を行いながら、方向性を固めていけたら良い。
- ・駐車場の拡張やシステム整備、MaaSの仕組みづくり等、行政からの支援があると良い。

## □公共交通

- ・運賃を安くすることは利用者にとって良いことだが、事業性も含めた検討が必要。
- ・輸送資源は限られているため、利用者が最も必要としているエリアに充てていくことになる。
- ・エコファミリー制度の対象外だと、その交通機関に対する心理的障壁になり得る。
- ・新しいモビリティを体験できるということで、摩耶山に新しいニーズを作ることできる。
- ・新しいモビリティは移動手段の他、アミューズメントという見方も出来る。

# 前回の振り返り

## □渋滞対策

- 年に数日の2か所の渋滞のために、大規模な駐車場を用意し、公共交通に乗り換えていただくのは不合理である。また、車での来訪者にとっても乗り換えの手間がかかる。
- 渋滞や駐車場待ちの状況により帰ってしまう人を取りこぼしており勿体ない。  
P&Rがあれば、また公共交通の利便性が上がれば、そういった層を取り込めるかもしれない。
- 公共交通の運賃や施設の入場料を安くする等のインセンティブを付けて、P&Rを提供することで、これまでと違う交通行動、楽しみ方が生まれる可能性がある。
- 繁忙期において、渋滞する特定施設とその他の施設全てを合わせた駐車場容量をオーバーしている自動車 coming しているのであれば、規制やコントロールが必要。そうでなければ、空いている他の駐車場に駐車し、公共交通等で円滑に移動することが出来ないか。
- 渋滞時は事前に情報提供を行い、公共交通を安くする等の対応になるのでは。
- P&Rだけで車の渋滞を抑制するのは限界がある。
- 目的施設の駐車場を平面から立体にする等、容量の増加が出来ると良い。

## □山上アクセス

- アクセスが非常に重要。タイミングを逸することなく、早く改善して欲しい。

# 前回の振り返り

## □ MaaS

- ・仕組みづくりや販売方法（特にWEBでの販売方法）等含めてしっかり考えていく必要がある。
- ・MaaSの本質は企画券であり、手法のデジタル化の話。
- ・バスやケーブルであれば人による対応も可能なので、紙券でも良い。
- ・来訪者にとって便利なサブスクリプション料金で交通等のサービスを提供するスキームを整備すれば良い。
- ・交通費のほとんどが固定費であり、1人乗っても10人乗っても発生する。運賃がサブスクで下がったとしても、利用しやすい料金設定が出来ると利用人数が増え、収入に影響はない。
- ・山上の交通と山上までの交通をワーケーションの家賃に含めて考える等、ワーケーションを活かした1つのモデルが出来る可能性がある。

## □ エリアマネジメントの機能強化

- ・山上の駐車場の満空情報発信におけるコントロールタワーの役割等、やるべきことがたくさんある。
- ・組織として機能するまでに長い時間を要する上に、地域、行政、また多くの既存の組織との関わりも出てくるので、今から考えていくべき。

## 1. 六甲山・摩耶山関係のR 4年度予算

## 2. 交通のあり方実現に向けたR 4年度の交通社会実験

2-1 社会実験の目的

2-2 社会実験の概要

2-3 スケジュール

## 3. その他

3-1 GWに実施した駐車場利用状況・渋滞長調査結果



# 1. 六甲山・摩耶山関係のR4年度予算

## 1-1 六甲山・摩耶山関係のR4年度予算

六甲山・摩耶山の活性化 4億2,900万円（うち3年度2月補正 1,000万円）

（以下、一部抜粋）

○六甲山・摩耶山の活性化（372,427千円（うち3年度2月補正 10,000千円））

- ・山上での交通社会実験及び山上へのアクセス向上の検討
- ・摩耶山掬星台再整備の公募に向けた検討
- ・ハイキングコースの改修及び維持管理 など

○六甲山上スマートシティ構想の推進（29,200千円）

- ・遊休施設の利活用、物件に関する相談窓口の運営
- ・山上のビジネス交流拠点「共創ラボROKKONOMAD」の運営支援
- ・都市と六甲山の「2拠点ワークスタイル」の普及を促進

○自然体験の充実（12,000千円）

- ・自然の家のリニューアル・活性化に向けた再整備方針の策定

## 2. 交通のあり方実現に向けた

### R 4 年度の交通社会実験

※実験内容については関係者協議中ため今後変更の可能性有

# 2-1 社会実験の目的

## 将来ビジョン

### ◇ 六甲山・摩耶山の将来像の実現に向けた交通ビジョン

- ◇ 市街地から山上へスムーズにアクセス
- ◇ 観光客が山上で快適かつ自由に往来できる交通環境づくり

- ・市街地からスムーズにアクセスできる
- ・山上全体を快適に周遊できる

### ◇ 移動自体・空間自体が目的となる交通環境づくり

- ・乗り物や空間を楽しむことができる
- ・観光客が自然を感じながら気軽に移動できる（自然を満喫できる多様なモビリティ自体が観光資源）
- ・モビリティと沿道のアクティビティが連携

### ◇ 観光・ビジネス等の各拠点間の効率的で自由・気軽な移動ができる交通環境づくり

- ・六甲山の観光施設を気軽に巡る
- ・ビジネススペースと観光施設をシームレスにつなぐ



# 2-1 社会実験の目的

## 交通体系の形成に向けた取組方針

## 交通施策

アクセス

山上

山上・アクセス

### 取組方針 1

市街地からのアクセス改善

市街地からケーブル駅への  
アクセス向上

①ケーブル山麓駅までの既存路線バスの見直し

山上へのアクセス向上

②市街地からの直接的なアクセス手段の検討

### 取組方針 2

エリア特性や需要に応じた  
交通サービスの充実

六甲山～摩耶山の回遊性向上を  
見据えた公共交通の再編

③山上における既存路線バスの見直し

多種多様なモビリティと  
アクティビティの導入

④人と公共交通の優先エリア化

⑤乗って楽しい気軽なモビリティの導入

### 取組方針 3

渋滞解消に向けた  
自動車利用の適正化

自動車と公共交通の連携

⑥パークアンドライド (P&R)の推進

### 取組方針 4

交通と山上施設との連携

交通、観光などのサービスを  
一体的に提供するスキーム構築

⑦MaaSによる目的と手段の一体的提供

六甲山・摩耶山の一体的な活性化を  
目的とした組織づくり

⑧エリアマネジメントの機能強化

社会実験対象

## 2-1 社会実験の目的

### ＜社会実験の目的＞

六甲山・摩耶山における交通ビジョンの実現に向け、  
各施策における効果の検証や課題の把握を行う。

#### 【令和4年度の社会実験における対象施策】

- ・六甲摩耶スカイシャトルバスの運行本数が少なく、六甲山上バスとの接続が悪い。
- ・六甲山牧場～掬星台の区間における六甲摩耶スカイシャトルバスの利用者数が少ない。  
→③山上における既存路線バスの見直し
- ・摩耶山では既存施設の再整備をはじめとして、自然を中心とした魅力(歴史・文化・自然環境)を体感・体験できる空間を整備。  
→④人と公共交通の優先エリア化  
→⑤乗って楽しい気軽なモビリティの導入
- ・自動車の分担率が高く、繁忙期には特定施設周辺で渋滞が発生している。
- ・六甲山・摩耶山の活性化の取組により今後も来訪者の増加が見込まれる。  
→⑥パークアンドライド(P&R)の推進（駐車場整備等の他施策についてもあわせて検討）
- ・複数の交通を乗り継ぐ必要があることや一部の交通ではキャッシュレス未対応であることなど、交通の分かりやすさや利便性に課題がある。
- ・山上での行動の利便性向上が必要。  
→⑦MaaSによる目的と手段の一体的提供



## 2-2 社会実験の概要

実施期間：令和4年11月23日(水)～11月27日(日)の5日間

実施時間：9:00～17:00

### ③ 山上における既存路線バスの見直し

六甲摩耶スカイシャトルバスを六甲山上駅～六甲山牧場の運行区間に再編し増便。

### ④ 人と公共交通の優先エリア化

一般車の通行を規制(許可車両を除く)し、規制区内で地元や山上施設と連携した賑わいを創出。

### ⑥ パークアンドライド(P&R)の推進

既存の企画乗車券を活用したモニター調査により、P&Rによる自動車来訪者への影響を調査。

### ⑦ MaaSによる目的と手段の一体的提供

既存の企画乗車券を活用したモニター調査により、MaaSの効果やコース等を調査。

### ⑤ 乗って楽しい気軽なモビリティの導入

グリーンスローモビリティ及びパーソナルモビリティを導入。マイクロバスも運行し、積み残し対応を図る。



## 2-2 社会実験の概要

### ③ 山上における既存路線バスの見直し

#### 【目的】

- 六甲摩耶スカイシャトルバス増便に伴う乗継利便性やサービス向上による利用者への影響の検証  
(乗継、回遊性、立ち寄り箇所、滞在時間、消費金額、満足度 等)
- 路線再編に伴う事業性や安全性、運行等の検証 (利用者数、OD、安全性、効率性 等)

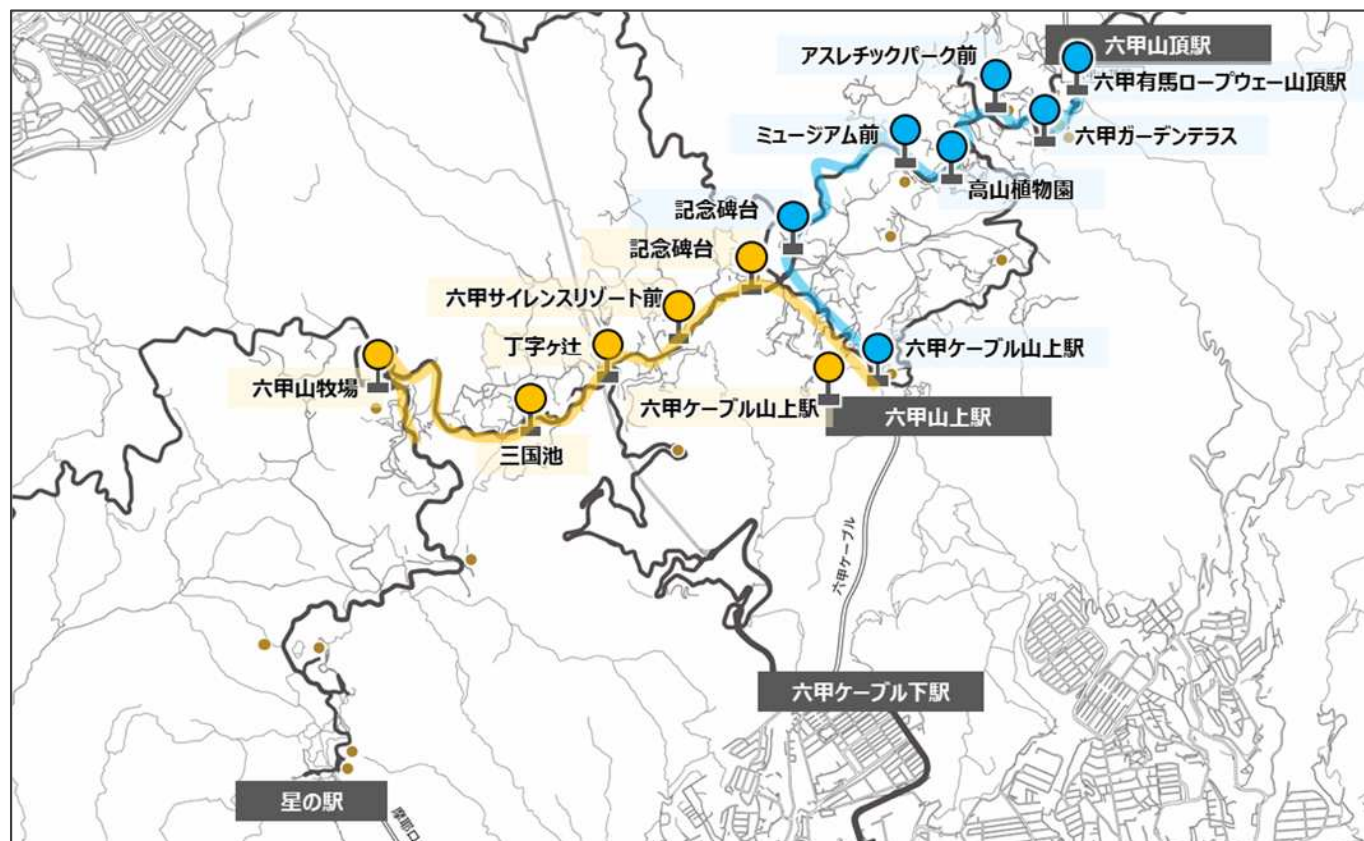
#### ■ 再編案

- ・六甲摩耶スカイシャトルバスの運行区間を六甲ケーブル山上駅～六甲山牧場とした上で増便
- ・記念碑台バス停の共用化についても検討

■ 運賃 有料 (現状の料金体系通り)

■ 運行便数 3便/h以上  
(現状は1～2便/h)

■ 運行事業者 六甲山観光(株)、阪急バス(株)





## 2-2 社会実験の概要

### ④人と公共交通の優先エリア化

#### 【目的】

- 一般車両通行規制による摩耶山来訪者への影響を把握（乗換抵抗、満足度、交通量、渋滞長、駐車場利用状況 等）
- 賑わい創出による行動の変化を把握（満足度、回遊性、立ち寄り箇所、滞在時間、消費金額 等）
- 安全かつ効果的な通行規制方法を検証（安全性、効率性 等）

#### ■ 規制区間

六甲山牧場南駐車場～摩耶ロッジ前停留所 間

#### ■ 規制時間

9:00～17:00

#### ■ 規制方法

六甲山牧場南駐車場前での警備員による規制  
（許可車両除く一般車を規制）

#### ■ 通行可能車両

グリーンスローモビリティ、マイクロバス、マヤチャリ  
緊急車両  
施設関係車両（施設スタッフ等）

#### ■ イベント実施候補箇所

神戸市立自然の家、穂高湖入口駐車スペース、掬星台駐車場、掬星台

<フリーマーケット>



<マルシェ>



<フードトラック：カフェ>



## 2-2 社会実験の概要

### ⑤乗って楽しい気軽なモビリティの導入

#### 【目的】

- 摩耶山におけるモビリティの適合性を検証（利用者数、満足度、回遊性、立寄り箇所、滞在時間、消費金額、安全性 等）
- 運用変更による利用意向及び行動の変化を検証（利用者数、満足度、立寄り箇所、滞在時間、消費金額 等）
- 適切な運行計画の検証（利用者数、積み残しの有無、効率性 等）
- 事業性の検証（利用者数、料金、運営コスト 等）

#### <グリーンスローモビリティ>

##### ■ 運行時間・区間・運賃

9:00～17:00 六甲山牧場南駐車場～掬星台（フリー乗降を想定）

運賃無料

##### ■ 想定車両台数

定員10名×2台 + 定員7名×4台 を想定



※定員 20 名程のマイクロバス 2 台で、土日祝の積み残し対応

■ 運行頻度 6便/h ※マイクロバスは3便/hで運行

■ 運行事業者  
グリーンスローモビリティ： タクシー事業者  
マイクロバス： バス事業者 or タクシー事業者

■ 車内での案内 摩耶山の自然や歴史等の魅力を車内放送等で紹介

#### <パーソナルモビリティ>

##### ■ 利用可能時間・区間・運賃

9:00～17:00 六甲山牧場南駐車場～掬星台

無料を想定（現在の料金：1,000円/3h）

##### ■ モビリティ

電動自転車（マヤチャリを8台程度増設予定）



摩耶山レンタサイクル「マヤチャリ」予約サイトより

##### ■ 貸出・返却ポート

六甲山牧場南駐車場、掬星台（monte702）の2カ所



## 2-2 社会実験の概要

### ⑥パークアンドライド (P&R) の推進

### ⑦MaaSによる目的と手段の一体的提供

#### 【目的】

- 目的と手段の一定的提供による行動の変化を検証（回遊性、立寄箇所、滞在時間、消費金額 等）
- 六甲山・摩耶山におけるMaaSのサービス内容について検討（満足度、ニーズ 等）
- パークアンドライド (P&R) による自動車来訪者への影響を把握（乗換抵抗、利用者数、回遊性、立寄箇所、滞在時間、消費金額 等）

■**内容** 交通の乗車券(山上のバスは乗降フリー)と山上施設割引等がセットとなっている「六甲・まやレジャーきっぷ」をモニターに無料配布。あわせて、モニターにはGPSロガー及びアンケートを配布。

#### ■モニター募集方法 (100~200名)

事前申し込み または 当日声掛け

#### ※GPSロガーとは

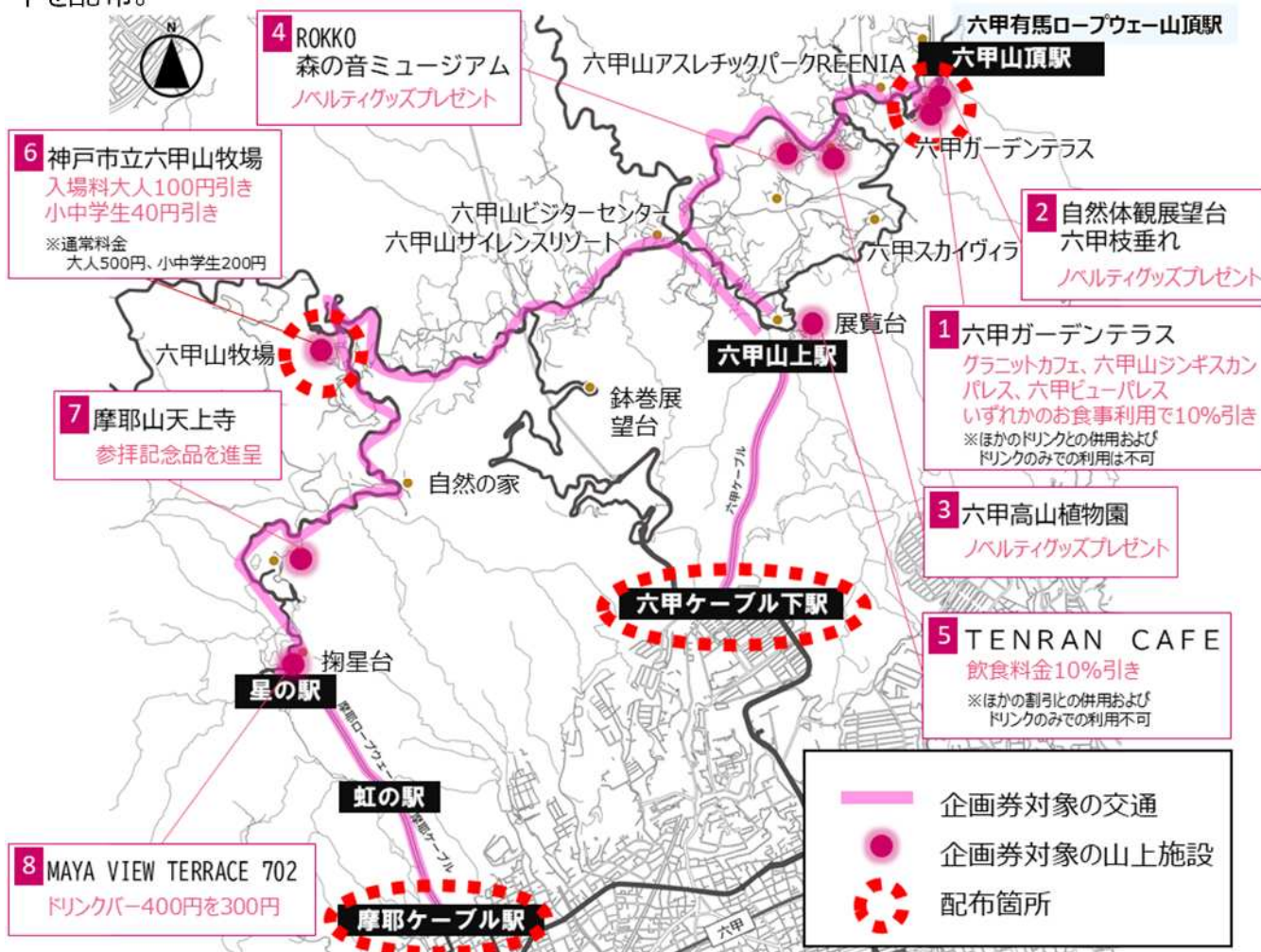
数秒単位ごとに位置情報を取得し、経路や訪問箇所等の記録が可能。



GPSロガーで把握できること

- ・回遊エリア
  - ・回遊ルート
  - ・回遊時間
- など

#### GPSデータ取得例



## 2-3 スケジュール

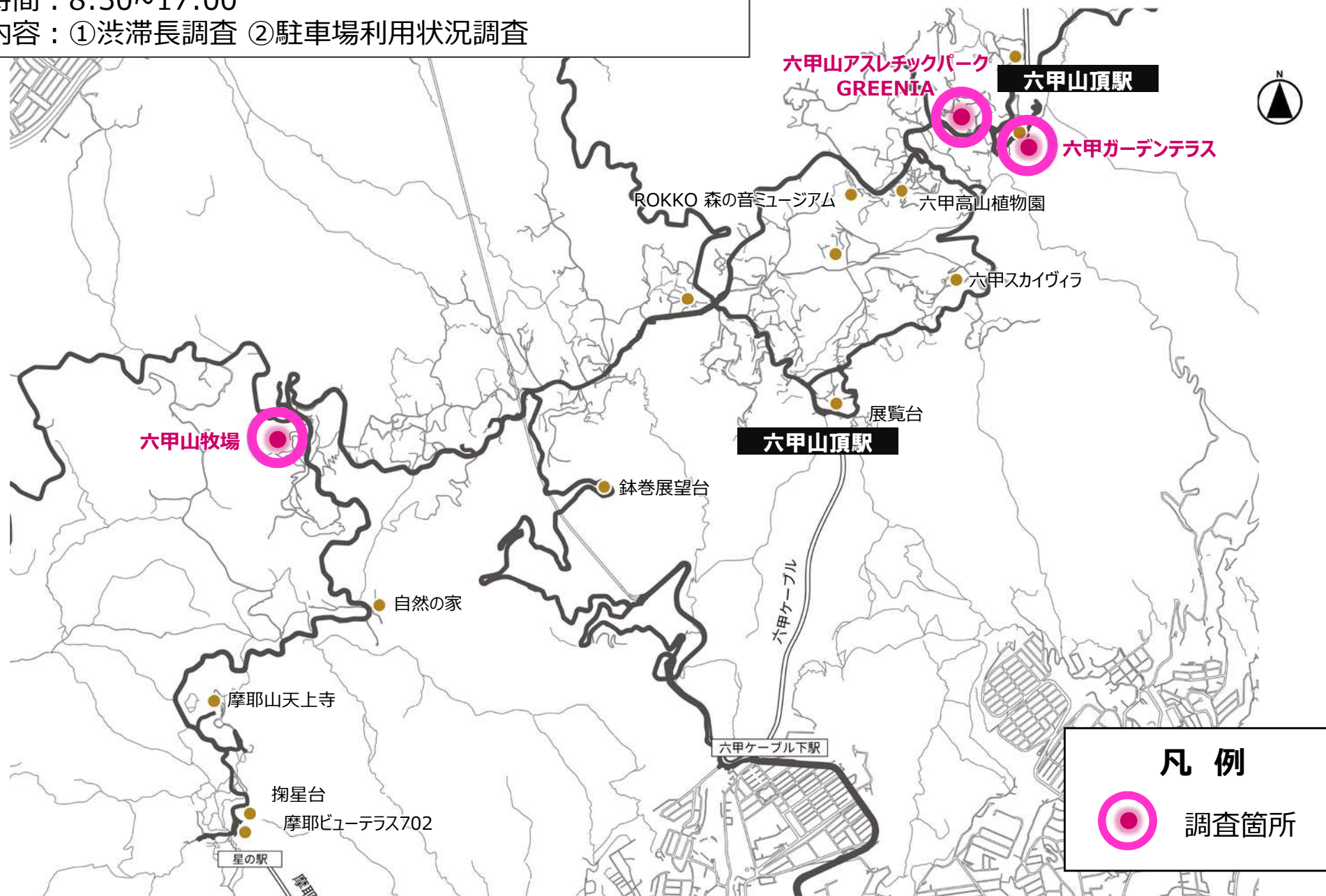
### スケジュール

| R4            |    |    |    |       |    |     |     |     | R5   |            |    |  |
|---------------|----|----|----|-------|----|-----|-----|-----|------|------------|----|--|
| 4月            | 5月 | 6月 | 7月 | 8月    | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月   | 2月         | 3月 |  |
| 計画作成          |    |    |    | 広報物準備 |    |     | 広報  |     | 社会実験 | 効果検証・課題の整理 |    |  |
| 社会実験の準備・関係者協議 |    |    |    |       |    |     |     |     |      |            |    |  |

## 3. その他

# 3-1 GWに実施した駐車場利用状況・渋滞長調査結果

調査日 : 令和4年4月30日(土)、5月4日(水) ※両日も晴天  
調査時間 : 8:30~17:00  
調査内容 : ①渋滞長調査 ②駐車場利用状況調査

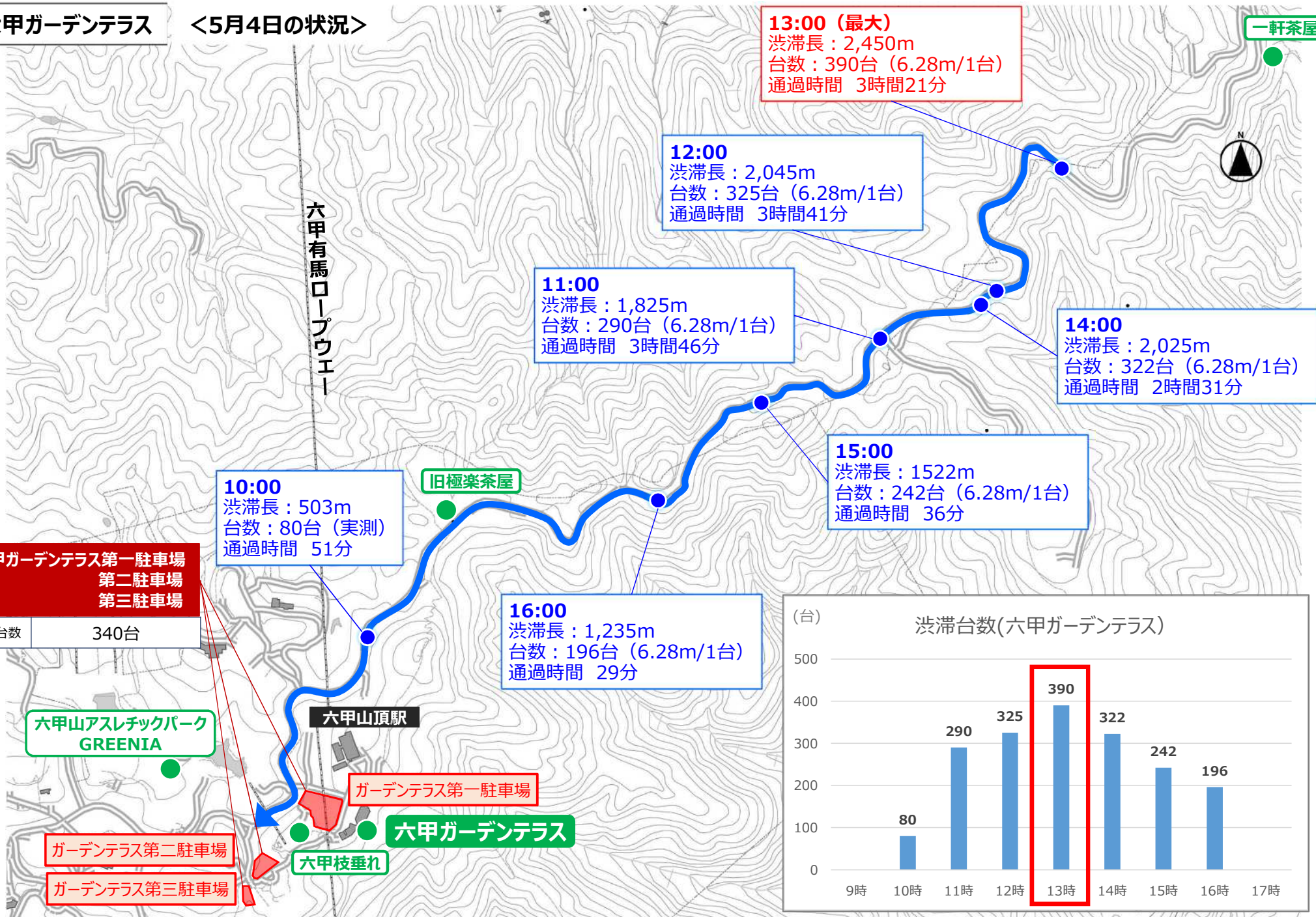




# 3-1 GWに実施した駐車場利用状況・渋滞長調査結果

六甲ガーデンテラス

<5月4日の状況>

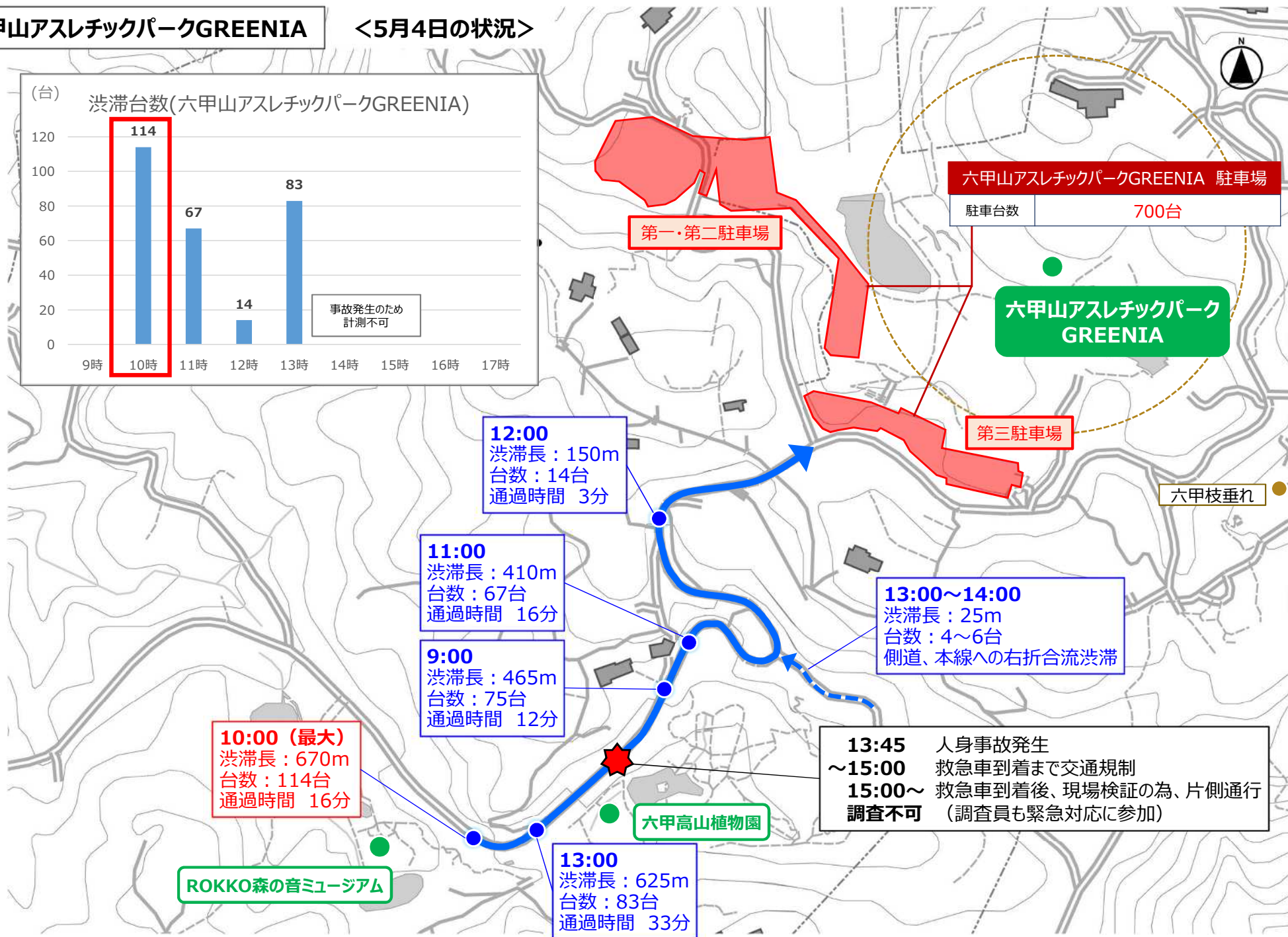
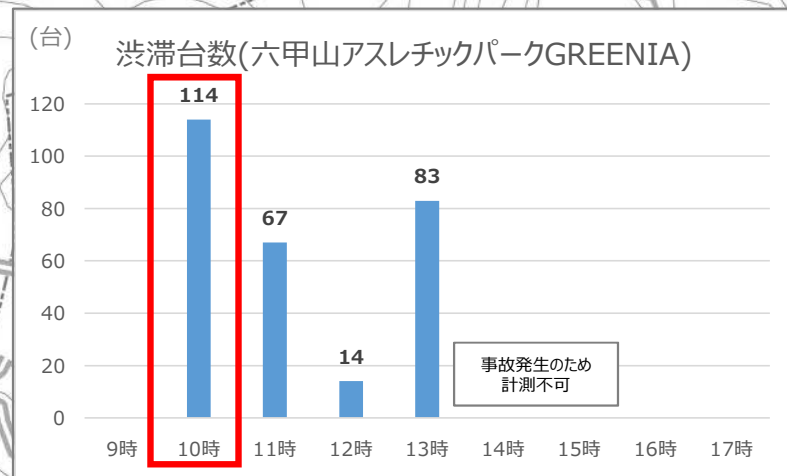




# 3-1 GWに実施した駐車場利用状況・渋滞長調査結果

六甲山アスレチックパークGREENIA

<5月4日の状況>





# 3-1 GWに実施した駐車場利用状況・渋滞長調査結果

## 六甲山牧場

<5月4日の状況>

